

民間の気象会社 株式会社GRIFFYでは、独自の「解析・予測技術」により、1kmメッシュという高解像度の局地予報を作成・提供しています。

この予測データを活用し、建設現場専用のピンポイント気象・防災ツールを提供。また、過去気象データを気象予報士が解析し、現場の気象特性の意識付けや安全管理・防災指針の作成に役立てられるなど、様々なシーンで気象データが活用されています。

独自の予測モデルとは？



労災データを活かす！

気象危険予知

Kishou Kiken Yochi

(安藤ハザマ×GRIFFY共同開発)



●過去の気象・労災データを統計的に解析。気象予測データから「その日起こりやすい労働災害」を予測し、「生気象（健康気象）」の考えを適用した解説を加えてWEB配信

●現場で毎日行われている危険予知(KY)活動を支援
労働災害発生防止に寄与

●現場で働く人の気象や安全・健康に対する意識を向上



特許番号 第7495686号



※データベースの構成要素

●過去の労働災害を事故の型別に分類し、災害発生日時
および発生場所などを整理したデータ

●労働災害発生時から前7日間の現場ピンポイントのさまざまな過去気象データ

安全・工程管理に活かす！

気象リスク管理モバイル **KIYOMASA PRO** (GRIFFY提供)



- GRIFFY独自の1km×1kmの高解像度
局地気象予測技術を使用し、高度別の
風速予測や作業可否判断ボードなど
建設現場へ特化したコンテンツを提供
- ゲリラ豪雨や雷等の局地的な天気急変を
予測し、異常出水対策などに活用可能
- アラート通知で基準値到達がわかる



拡張機能で
さらに安全性UP！

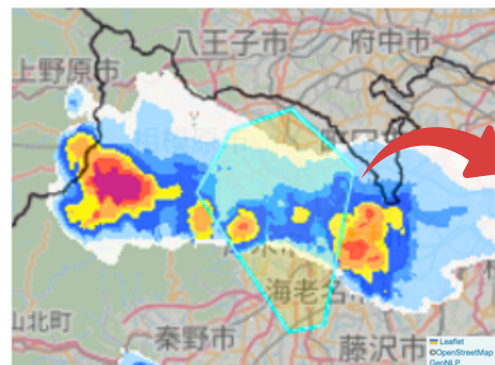
MoniDAS (モニダス)

KIYOMASA PROの情報を、モニターやPCで常時表示し、基準を超える降水量や強風予測が発表された場合には、音声とポップアップで警告を行うオプション。



KIYOMASA デガード

KIYOMASA PROの予測データを用いて、任意エリア（ポリゴン）の降水量や風速、雷、竜巻などの気象要素を監視。基準を超える予報が発表された場合に、アラート通知するオプション。

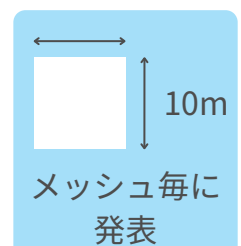
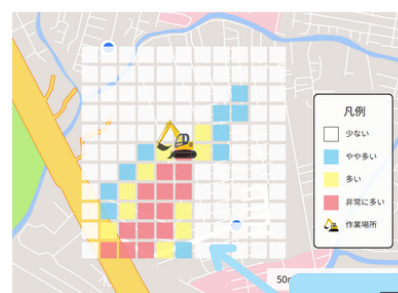


環境対策・散水計画に活かす！

粉じん飛散予測システム **TOBASAN** (安藤ハザマ× GRIFFY共同開発)



- 重機作業等による粉じんの飛散方向と
飛散量を予測しマッピング
- 散水計画や作業変更・近隣対策を支援
- 1日2回（午前・午後）指定の時間に
更新



飛散状況の色分け表示